

報道関係各位

2024年11月6日
株式会社クロス・マーケティング

ペット飼育意向は3割、過去にペットを飼っていた人は5割超え ペットを捨てることは「許容できない」が74%

－ ペットに関する調査（2024年）意識編 －

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、2024年10月、全国に在住する20～69歳の男女5,000人を対象に「ペットに関する調査（2024年）」を実施し、ペットに関わる実態や意識・行動などを全般的に聴取しました。今回は、ペットの飼育意向、飼いたいペットの種類、動物カフェの利用意向、ペットロボット・エンターテインメントロボット試用意向、ペットを捨てることへの意見に着目し分析をしました。

■ 調査結果（一部抜粋）

- ✓ **【ペットの飼育意向と懸念点】** 現在、ペットを飼っていない人に対し今後の飼育意向を聴取したところ、飼いたい（飼いたい+どちらかという飼いたい）は31%と2年前と同様な結果であった。50代の飼育意向は34%とやや高い。過去にペットを飼育していた層は、半数を超える55%が飼育意向を示している。＜図1＞ 飼いたいペットの種類は、「犬」63%、「猫」55%であり、2年前より「猫」を飼いたい意向が高まっている。＜図2＞ ペット飼育にあたり気にすることは、「ペットを置いて長時間留守にできない」「お金がかかる」が4割台、「ペットロス」「病気になってしまわないか」「掃除が大変」が3割台。加えて50～60代は「自分が死んだあとどうするか」が気がかりな点としてあげられた。＜図3＞
- ✓ **【動物カフェ・ペットロボットの利用意向】** 動物カフェの利用意向は29%、今後ペットを飼いたい層の意向は56%と高い。ペットロボット・エンターテインメントロボット（RoBoHoN、LOVOT、Romioなど）の試用意向は19%で、今後ペットを飼いたい、現在ペットを飼っている層での意向は高めである。2年前より試用意向は上昇していた。＜図4＞
- ✓ **【ペットを捨てることへの意見】** ペット遺棄による生態系への影響が懸念される中、ペットを捨てることに対する意見を聴取した。ペットを捨てることに「許容できない」は57%、「まあ許容できない」は17%と合わせて74%と多くは許容できないと回答。年齢が高くなるほど許容できない傾向は増え、特に50～60代は8割を超えた。一方、20代はペットを捨てることは「仕方がない」と41%が答えており、ペット遺棄に対する意識は他年代と比べて低い結果となった。＜図5＞

◆ 詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20241106pet/>

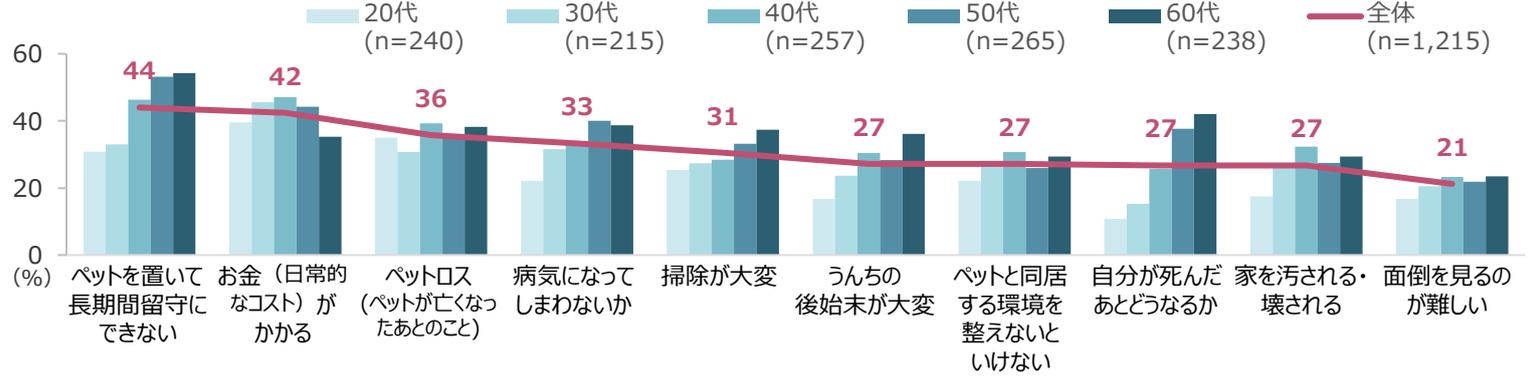
＜図1＞ ペットの飼育意向（単一回答）※ベース：ペット非飼育者

	n=	飼育意向				飼いたい計	飼いたくない計
		■ 飼いたい	■ どちらかという飼いたい	■ どちらかという飼いたくない	■ 飼いたくない		
2022年 全体	(3,830)	11	20	18	51	31	69
2024年 全体	(3,937)	12	19	16	54	31	69
20代	(795)	11	19	15	55	30	70
30代	(775)	11	17	15	57	28	72
40代	(795)	12	21	14	54	32	68
50代	(779)	14	20	16	50	34	66
60代	(793)	10	20	19	51	30	70
過去ペット飼育者	(1,287)	22	33	21	24	55	45
ペット飼育未経験者	(2,650)	7	13	13	68	19	81 (%)

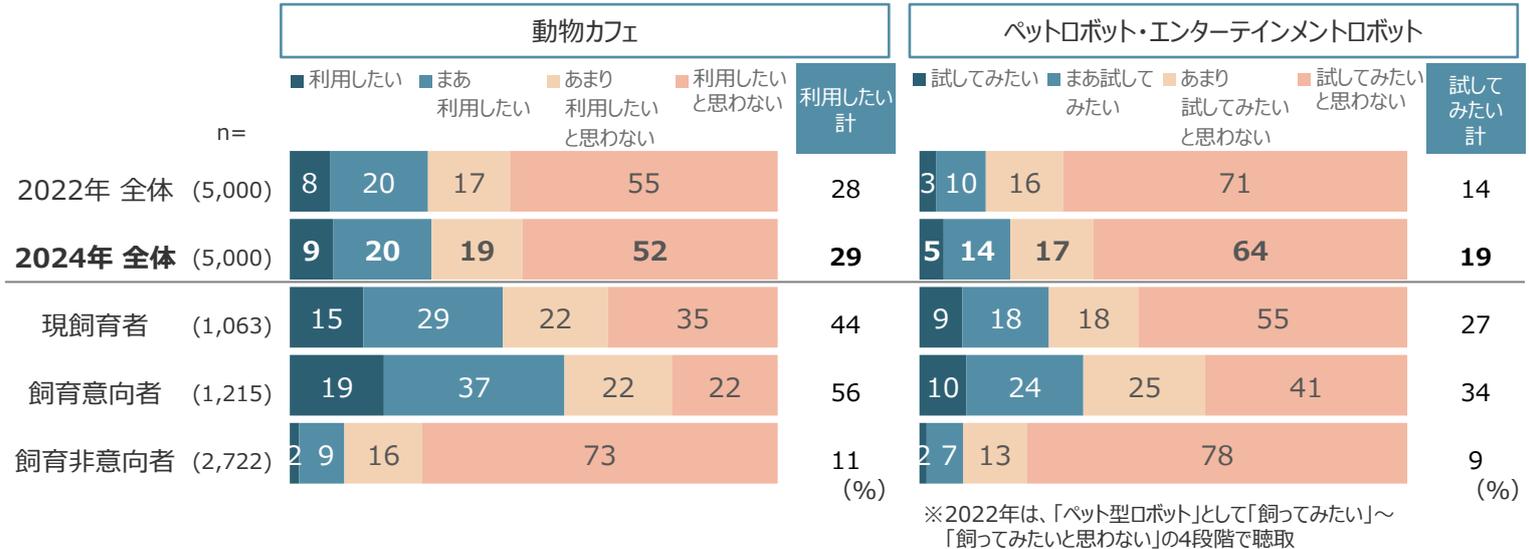
＜図2＞ 飼いたいペットの種類（複数回答） ※ベース：ペット非飼育者かつ飼育意向者／上位5項目を抜粋



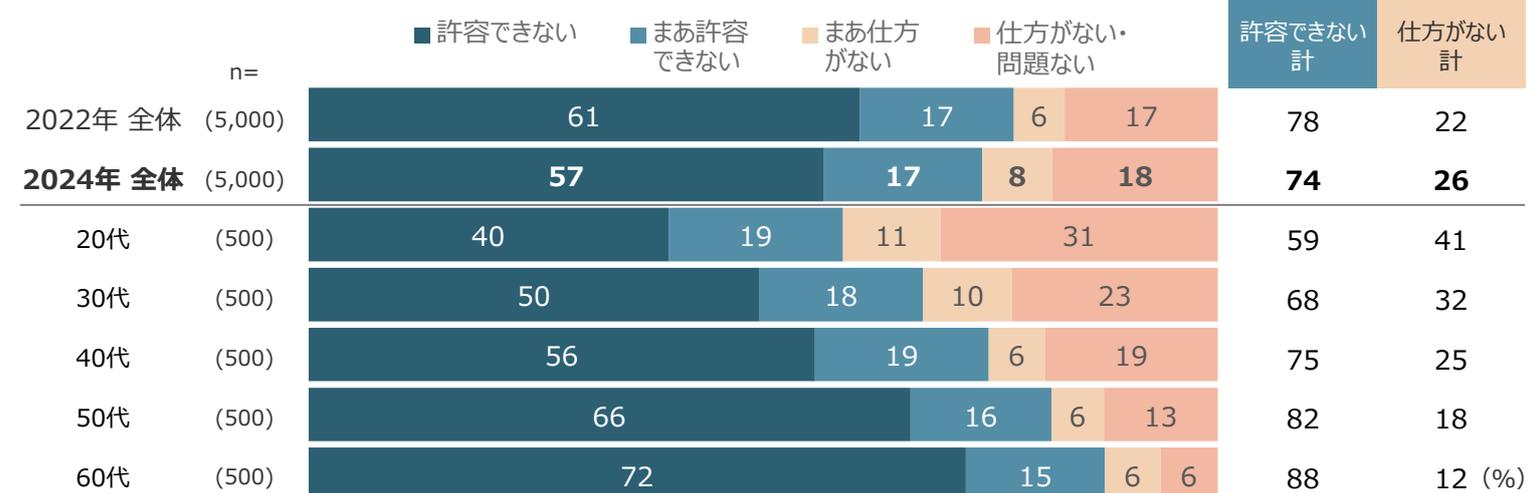
＜図3＞ ペット飼育にあたり気にすること（複数回答） ※ベース：ペット非飼育者かつ飼育意向者／上位10項目を抜粋



＜図4＞ 動物カフェ・ペットロボットの利用意向（単一回答）



＜図5＞ ペットを捨てることに対する意見（単一回答）



■レポート項目一覧

- 属性設問
(性別/年代/婚姻状況/居住地/子どもの有無/同居家族/同居家族人数/同居子どもの年齢/職業/住居形態/世帯年収/
ポテンシャル・ニーズ・クラスター/ペット飼育状況)
- 調査結果サマリー

▼調査結果詳細

- ペット飼育意向
- 飼いたいペットの種類
- 過去飼育ペット
- ペット飼育にあたり気にすること
- ペットを飼いたくない理由 (自由回答抜粋)
- 動物ペット関連で1年以内に行った/見たこと
- ペット可の賃貸物件についての意見
- ペットロボット・エンターテインメントロボット試用意向
- 動物カフェ利用意向
- ペットを捨てることについての意見
- ペット関連情報の情報源

▼参考資料

- ポテンシャル・ニーズ・クラスター (PNCL) について

◆レポートのダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20241106pet/>

■調査概要

調査手法	: インターネットリサーチ	調査期間	: 2024年: 10月4日 (金) ~6日 (日)
調査地域	: 全国47都道府県		: 2022年: 10月21日 (金) ~25日 (火)
調査対象	: 20~69歳の男女	有効回答数	: 本調査5,000サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
設立 : 2003年4月1日
代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」